

グループ協議

よい点・大事にしたい点

子どものつづやきを生かした授業展開

樋口

子どもと作る、めあてとまとめ。

樋口

教師に頼るのではなく、自分や友達と解決する意識付け（日頃の授業から）

樋口

子どもたちのモチベーションをあげる発問。
～だよねではなく、子どもたちに考えさせる発問。

樋口

児童の意欲、モチベーション、考え続ける姿、説明をする姿などが見られた。自ら学ぼうとする姿であったと思う。

樋口

角度とは何かを1時目におさえられていた。

北原

導入がシンプルで、子どもの興味を引くものであった。一気に考えるモードに子どもたちがいった。

樋口

学びの足あとが残っているのは、手がかりになって良い。キーワードが分かる。

北原

考える時間の中に、中間指導があり、
①お手本の姿
②困っていることを確認し、更に話し合いが深まった。

樋口

課題点・疑問点

グループですると、わからない子が写すような子もいる
→どう、理解と定着をさせるか。

樋口

学びを深めるために、どう行動するか（自分で、いろんな人と意見交換するなど）を考え続ける児童をどう育てるか・・・

樋口

児童が本当に分かっているかの見取り。自分だったら評価が難しい。

北原

自由にグループを・・・とすると、同じメンバーになりがち

樋口

提案・代替案

児童の実態、教科に合わせて、解決方法（だれと、どのようにあ）は検討していく

樋口

扇を作ったり、腕を使って表したりするなど、操作活動を取り入れる時間があっても良かった。限られた時数の中で難しいかもしれないが・・・

北原

グループ協議

よい点・大事にしたい点

これまでの授業の
掲示物
考え方が整理され
ていた

中野

子供の言葉を拾っ
て進んでいた

中野

めあての内容が子
どもたちにとって
わかりやすいもの
になっていた。→
ゴールが明確

武富

「〇〇さんが線を
引いてるよ」
→見通しがたつて
とき進めることが
できた

中島

学習形態を選ぶ
→自分で選ぶこと
で、意欲的に学習
に向かえる

中島

教師が言いすぎな
いところが、自分
たちで答えを出そ
うとする姿につな
がっていた。

北原

教師が発言しすぎ
ない
→発見の楽しさ

中野

中間指導で、ヒン
トとなる考えを大
きな声でつぶやく
ことで、自力解決
の助けとなってい
た。

北原

子どもたち同士
で、やりとりがで
きていた。

北原

既習の掲示物
比較・発展させやすい

中野

課題点・疑問点

メンバーが固定さ
れないか？

中野

自分で考える時間
をとる必要は？
→分からなければ
聞くも学び方の一
つ？

中野

3つの和とのつな
がりは？

中野

グループで集まっ
ていたが、一人で
考えている姿も見
られた

武富

提案・代替案

測り方の簡単さを
話し合わせたらど
うか

中野

量感、角度とは何
かを一人ひとりが
つかんでおく。
→どこを求めるの
か、色をつける

北原